

2000年(平成13年)6月20日

---

# アイヌタイムズ第17号日本語版

---

## ★ 新しいフォント

アイヌ語を書くことができる「新しいフォント(書体)」が作られました。

アイヌタイムズ第14号にアイヌ語を書く時に使われる「新しいカタカナ文字コード」ができたと言いました。まだ、パソコンでそれを書くことはできませんが、WindowsやMacintoshというパソコンに「Shift-JIS X0213 フォント」

という印(書体)を入れると、パソコンでこのカタカナ文字を使うことができます。

新しいJIS規格の中にShift-JIS X0213符号化方式があります。この符号化方式で新しいフォント(書体)が作られました。このフォントは、「Habian」、「Kandata」と言われています。

インターネットにこのフォントがあります。

<http://www11.freeweb.ne.jp/computer/wakaba/FONT/Habian/Habian.htm> (Windows)

<http://www.asahi-net.or.jp/~sd5a-ucd/freelfonts/Kandata/> (Windows)

<http://www.freeweb.ne.jp/computer/fairuse> (Macintosh)

このフォントとWindowsを使えば、その中の「文字コード表」という文字入力プロセッサを用い、「メモ帳」や「秀丸エディタ」というワープロソフトの中で「新しいカタカナ文字」を使うことができます。

このフォントとMacintoshを使えば、「ATOK」や「ことえり」の「文字パレット」という文字入力プロセッサを用い、「SimpleText」や「Jedit」というワープロソフトの中で「新しいカタカナ文字」を使うことができます。

しかし、文字パレットを使いながら文字を一つずつ選ぶと少し疲れます。そのため、あるプログラムが作られました。これを使うと、ローマ字ばかりパソコンに入力してもきちんと新し

い文字も作ることができます。「秀丸エディタ」に、そのプログラムを入れて使います。

インターネットにこのプログラムがあります。

<http://aynuitak.at-ninja.jp/ainumac.htm>

「超漢字」というソフトは、WindowsソフトでもMacintoshソフトでもないですが、「新しいカタカナ文字」を使うことができます。

<http://www.personal-media.co.jp/>

しかし、このソフトも一つずつ新しいカタカナ文字を入力して使います。

アイヌ語を書きやすくするために、さらによりよいプログラムが作られたらよいと思います。

[横山 裕之] 沙流・千歳

今回の日本語版は、新しい試みとして記事で紹介されたアイヌ語小文字を含むフォント「Kandata 1.8.2」を用いて製版しました。